

2. 大会出場にあたっての注意事項

(1) 引率・抽選会について

引率責任者の引率がない場合、選手は試合に出場できない。
また、抽選会には必ず出席すること。出席のない場合は大会に出場できない。

(2) 服装等について

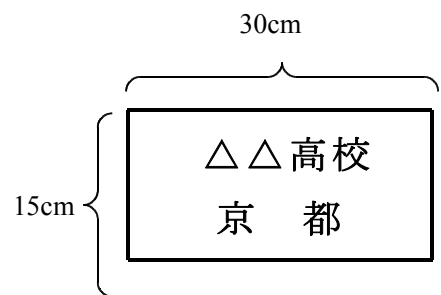
- ① 試合時の服装は、(公財)日本バドミントン協会現行大会運営規程の通りとする。
- ② 上衣・下衣の色は特に問わないが、日本バドミントン協会審査合格品に限る。
- ③ 下衣について、男子は短パン・ハーフパンツ、女子はショートスカートまたは短パン・ハーフパンツとする。
- ④ アンダーウェア・シューズは、日本バドミントン協会審査合格品に限る。

(3) 背面表示について

規定の背面表示がない選手は試合に出場できない。

① ゼッケンの場合、規格は以下の通りとする。

- ・ 手書きは不可
- ・ 大きさは縦15cm、横30cmとする
- ・ 台地は白、文字は黒または濃紺とする
- ・ 校名、「京都」は日本字、筆記体とする
- ・ 文字の太さは、校名約10mm、「京都」約8mmとする



② 上衣(シャツ)の背面に直接プリントする場合。

- ・ プリントする範囲は、ゼッケンの範囲を標準とする
- ・ 校名、「京都」は日本字、筆記体とする
- ・ 文字の太さは、校名約10mm、「京都」約8mmとする
- ・ 文字の色は、上衣の色を考え、見やすい色にすること

(4) シャトルについて

シャトルは、(公財)日本バドミントン協会第1種検定合格球を使用する。本部から支給するシャトルについては大会時の諸注意を持って明記するものとする。ただし、個人戦(京都府高校総体)では全て各校持ち寄りとする。また、メーカーについては YONEX・GOSEN・MIZUNO・REDSON・FD を推奨する。持ち寄りのシャトルについては適性温度別に選定すること。番号と温度の目安は次の通り。 5番: ~17℃ 4番: 17℃~22℃ 3番: 22℃~27℃ 2番: 27℃~

(5) 給水等について

コート内における給水については各会場の注意に従うこと。給水が可能な場合、容器はスクイズボトル・ペットボトルとし、カン・ビンは禁止する。容器はコートサイドに置いてあるトレイに入れること。また、フロアへのクーラーボックスの持ち込みは認めない。氷嚢の使用は、インターバル時のみ認め、保管は保冷バッグでコーチングシートとする。

(6) インターバルについて

全ての大会は(公財)日本バドミントン協会現行大会運営規程の通りとする。

(7) 個人戦における注意事項

- ① 審判は各会場の指示に従うこと。線審については試合を行う選手の学校から相互に出し合うこと。また、主審は必ず選手の確認をすること。
- ② 試合番号順に試合行うとは限らないので、試合のコールには十分注意すること。
- ③ コートサイドに設けられた監督・コーチ席は2名までとする。

(8) 学校対抗戦における注意事項

- ①申込みにて申請できるのは、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・試合出場選手(5～7名)に限る。8人目が出場することはできない。マネージャーは当該校生徒とする。選手は試合出場の資格のある者とする。
- ②試合当日、最初のオーダー提出以前であれば、個人登録済みの選手の中から、試合出場選手を変更できる。ただし、学校対抗戦決勝トーナメント2日目については選手の変更はできない。
- ③申込みをした選手数・コーチ数を変更することはできない。(追加はできない)
- ④一度提出したオーダーは変更できない。
- ⑤コートサイドに設けられた監督・コーチ席は2名までとする。

[学校対抗戦ブロック予選の試合順序]

<4校ブロック>			<3校ブロック>		
試合番号	対戦校	審判	試合番号	対戦校	審判
1	A-D	B・C	1	A-C	B
2	B-C	A・D	2	B-C	A
3	A-C	B・D	3	A-B	C
4	B-D	A・C			
5	C-D	A・B			
6	A-B	C・D			

[学校対抗戦ブロック予選の順位決定基準]

- ア. 各対抗戦の勝点の多い学校を上位とする。
- イ. アが同じ場合、全試合中勝ちの多い方を上位とする。
- ウ. アイが同じ場合、取得ゲーム率の高い方を上位とする。
- エ. アイウが同じ場合、取得ポイント率の高い方を上位とする。

(9) 高体連各種大会における「引率・監督」について(京都府高体連より通達)

- ①府立学校・市立学校・国立学校については次の通りとする。
引率責任者は、当該校の教員とする。監督については、学校長が認めた教職員とする。
- ②私立学校については次の通りとする。
引率責任者は、学校対抗戦の場合は校長が認めた当該校の職員とする。個人戦の場合は校長が認めた学校の職員とする。監督・コーチは校長が認めた指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

(10) 大会における監督・コーチについて

- ①年度当初に各学校の顧問一覧を提出するものとする。
- ②個人戦は、①にて提出した顧問であれば監督およびコーチとして登録したことになる。外部コーチ登録申請は外部の者のみ申込時に申請する。
- ③学校対抗戦は、①にて申請した顧問であれば監督およびコーチとしてプログラムに明記できる。ただし、大会当日に監督およびコーチが替わるときには試合開始前に選手メンバー変更と同様に本部席まで申請すること。外部コーチ登録申請は外部の者のみ申込時に申請すること。また、監督の男女同一名の申込は不可とする。
- ④監督およびコーチについては以下の団体等を通じて日本バドミントン協会に登録することが望ましい。ただし、近畿大会・全国大会出場の学校の監督は次の枠内の関係所属を通じて日本協会に登録が必要である。(他府県において同等の団体も可)

京都府実業団連盟・京都府社会人連盟・京都府レディース連盟・京都教職員連盟
京都府学生連盟・舞鶴市協会・福知山市協会・亀岡市協会・長岡京市協会・宇治市協会
京都市協会・向日市協会・城陽市協会・小学生連盟・京都府協会非選手登録・社会人クラブ

- ⑤外部コーチについては個人戦、学校対抗戦にかかわらず、④のいずれかの団体に所属し、その団体を通じて日本バドミントン協会に登録を済ませている者とする。
- ⑥ブロック予選など学校体育館等において特に監督・コーチ席およびベンチ席が設けられていない場合、選手へ助言に行くことができるのは監督、コーチ、個人登録済み選手のなかから一度に2名までとする。
- ⑦決勝トーナメントにおいて監督・コーチ席が設けられている場合、コーチ席に着席できるのは①の2名とし、監督・コーチ席から助言に行くことができる。
- ⑧監督については個人戦、学校対抗戦にかかわらず1名とし、(9)のとおりとする。
- ⑨監督・コーチはマッチにふさわしい服装で臨むこと。チームユニホーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス・長ズボン・スカートとし、ジーンズ・ビーチスタイル・バミューダ・ショーツ・スリッパ・サンダル・Tシャツは禁止とする。その適否判断は大会レフェリーに委ねる。

3. 一般的注意事項

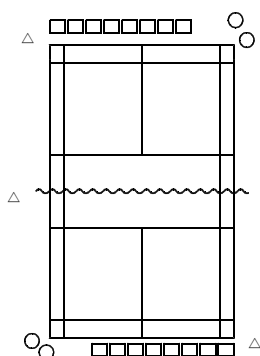
- (1) 会場責任者からの注意事項は必ず遵守すること。
- (2) 会場での貴重品・持ち物は、各個人・学校で管理すること。
- (3) ゴミは各校で責任を持って持ち帰ること。(各校で必要枚数のゴミ袋を用意すること)
- (4) 二足制に注意し、体育館では専用のシューズを使用すること。
- (5) 食事などは指定された場所でとること。
- (6) 立ち入り禁止場所には絶対に入らないこと。
- (7) 会場における事故には十分気をつけること。また、器物破損などは絶対にしてはいけない。
- (8) 会場内での不審者には十分気をつけること。
- (9) 会場によっては、応援者の来場を制限する場合があるので、抽選会などでの説明に注意すること。
- (10) 会場での忘れ物については事務局で保管するが、年度を超えるものは処分するものとする。

4. コートの設営

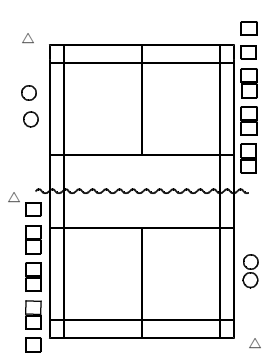
基本的なコートの設営は以下のとおりとするが、ブロック予選など学校体育館等を使用する場合は会場校の判断で変更してもよい。

<学校対抗戦>

コート前後にスペースがある場合

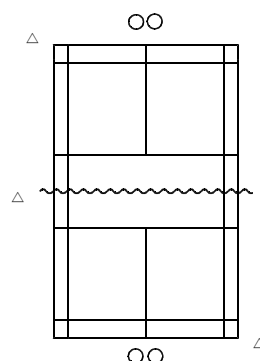


コート前後にスペースがない場合

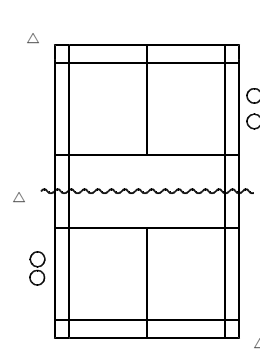


<個人戦>

コート前後にスペースがある場合



コート前後にスペースがない場合



△主審・線審位置 □選手席 ○監督・コーチ席

5. 警報時における大会運営について

午前6時現在、会場地域に暴風警報・特別警報が発令された場合、大会は中止する。
午前8時に解除された場合、12時より試合開始とする。

6. 試合中の電子機器使用等について

試合中、選手・コーチ・チーム関係者はマッチの区域内または監督・コーチ席・ベンチ席において、タブレット端末・携帯電話等のモバイル機器の操作またはビデオカメラでの撮影を禁止とする。

7. 大会における失格など

(1) 個人戦

大会申し込みにおいて

①複において、同一選手が二重出場申請をされた場合。

① 複において、同一選手が二重出場申請をされた場合。

1 ア イ

2 ウ エ

3 ア オ

このとき、1・3とも失格とする。

② 単において、同一選手が二重出場申請をされた場合、その選手は失格とする。

1 ア イ

2 ウ エ

3 ア イ

このとき、1・3とも失格とする。

②単において、同一選手が二重出場申請をされた場合、その選手は失格とする。

③複・単とも個人登録手続きをされていない選手が出場申請をされた場合、その選手は出場できない。

④申込ファイルに学年が記載されていない場合、事務局より改善を促す。

試合当日において

①コート間違えてマッチが始まった場合、間違えた側の選手を失格とする。

②双方がコート間違え場合、正しいマッチをやり直す。

(2) 学校対抗戦

大会申し込みにおいて

①男女とも同じ監督名で出場申請をされた場合、申請は受け付けない。

②申込ファイルに学年が記載されていない場合、事務局より改善を促す。

③個人登録手続きをされていない選手が出場申請された場合、その選手は出場できない。

試合当日において

①大会当日、出席確認時に選手が5名に満たない場合、その対抗戦を失格とする。

(ただし、交通状況や気象状況等により、やむを得ない場合は除く。)

②単1が他の種目に出場した場合、そのチームはその対抗戦を失格とする。

③コート間違えてマッチが始まった場合、間違えた側のチームはその対抗戦を失格とする。

④メンバー申請をしていない選手がメンバー変更届を提出せずに出場した場合、そのチームはその対抗戦を失格とする。

⑤個人登録手続きをされていない選手がメンバー変更で出場した場合、そのチームはその対抗戦を失格とする。

⑥対抗戦中にキケンをした選手はその後、出場はできるが、キケンの理由を把握しておく必要があり、故意にキケンした場合、そのチームはその対抗戦が失格となることがある。